

東京市ノ特別税トシテ土地増價税
及ヒ財産税ヲ設定スヘシ

我カ東京市ハ其自治財源、豊富ヲ求メサル
ヘカラサルノミナラス又其都市經營ヲ張
ル爲メニ市債ヲ起ササルヘカラス^乃テ市債
ヲ起サント欲セハ必ス先ツ其公債費即ケ
元利支拂財源ヲ明カニスルヲ要ス是レ今日
ニ於テ東京市特別税ノ規模ヲ立テサルヘカ

ラスト云フ所以ナリ而シテ我カ日本ノ首府
トシテ新タニ設定スヘキモノハ蓋シ土地増
價税及ヒ財産税ナルヘキカ

都市租税ノ根本政策三アリ第一ハ自治體ノ
爲メニ收入ヲ得ルコト是レナリ第二ハ此ニ
由リテ社會政策ノ功ヲ奏スルコト是レナリ
第三ハ此ニ由リテ市街經畫及ヒ市民經濟上
ノ利ヲ資クルコト是レナリ而シテ土地増價

二
税及ヒ財産税ノ二者ハ則チ租税中最モ此要件ヲ具備スルモノタリ

土地増價税 *Wertzuwachssteuer* ハ本來都市自治體ノ好財源ナリ此租税ハ一定年月日ニ於ケル土地ノ價格ヲ基準ト爲シ五年十年若クハ十五年毎ニ其價格ヲ評量シテ其ノ自然的増價ニ對シテ課税スルモノニシテ二割乃至二割五分ヲ徵收スルヲ以テ常ト爲ス其理由ニ

曰ク土地カ所有主ノ加工又ハ新タナル投資ニ由ラスシテ猶ホ能ク其價ヲ貴クシタルハ全ク其ノ社會ノ力ニ是レ賴ル地主カ他ノ力ニ賴リテ贏チ得タル偶然ノ利得ハ彼獨リ之ヲ專ラニスルノ理ナク須ク其一部ヲ社會ニ貢獻セシムヘシト且此租税ヲ設定スルトキハ以テ能ク土地投機及ヒ兼併又ハ買占メノ弊ヲ防止スルヲ得ヘシ

此租税ヲ設定スルモ其初メニハ收入アル無ク唯定期評量ノ中間ニ於テ賣買讓與スル者ニ就テ其々ノ規定ヲ設ケテ之ヲ逋脱スルヲ得サラシム然レトモ五年又ハ十年ヲ經テ後ハ此租税ハ最モ彈力ニ富ミ且確實ナル財源タルヘシ

今日英吉利其他ニ於テ土地増價税ヲ國税トシテ設定スル處アリト雖モ此租税ノ性質上

最モ地方自治體ノ財源タルニ適當ス

租税史ニ依レハ獨逸ノフランポルトドルトムンドゲルゼンキルヘン等諸市先ツ自治財源トシテ之ヲ徵收シハムブルグリエーベツクリツペ等亦地方税トシテ之ヲ設定シタルニ鑒ミテモ其概要ヲ知ルヘク今日地租ヲ地方税タラシメントスルノ時ニ當リテ土地増價税ヲ國税ト爲スハ甚タ當ラス且此租税

ニ依リテ社會政策又ハ都市經畫上、功益ヲ收メ得ヘキ處ハ自ラ限リアリ只我カ東京市ノコトキ處ニ於テノミ能ク其功ヲ全クスルヲ得ヘシ

財産税 *Vermögenssteuer* ハ財産ヲ以テ課税ノ標準ト爲シ其所有者ニ賦課スルモノニシテ一定ノ住宅家屋倉庫庭園等ニ課税シ時ニ貴重品美術品所有者ニ課税スルヲ妨ケス此租

税ハ本來補助税ナリ抑モ租税ハ負擔能力ニ應シテ之ヲ徵收スルヲ原則トシ主トシテ其所得收益ニ對シテ課徵スルモ所得税法其他ノ税法ノ適要自ラ限リアリ強大ナル負擔能力ヲ有スル者ニシテ比較的ニ寡キ租税ヲ納メテ已ルモノナキニアラス乃チ其負擔ノ衡平ト租税制度ノ確實トヲ保ツ爲メニ此財産税ヲ課スルモノトス

今日我カ東京市内ニ大厦高樓ヲ有シ其庭園ノ廣大ヲ誇リ別莊控邸ノ多キヲ衒フ者アリ此種ノ財産ヲ所有シ且支持スル者ハ則チ其收入ノ多キヲ自證スルモノタルヤ論ナシト雖モ之ヲ所有シ之ヲ支持スル者ノ所得税其他ノ納税額ハ必スシモコレト比準セス即チ是レ諸税法ノ缺陷アルヲ示スモノタリ且是等所有者支持者ハ則チ奢移贅澤ニ流ル、ノ

徒ナリ此ニ重税ヲ課スルハ一ハ以テ租税逋脱ノ弊ヲ防キ一ハ以テ其奢移贅澤ヲ戒シムルニ足ルヘシ

目下●税制整理委員會ハ財産税法ニ就テ調査研究中ニシテ異論百出ノ態ナリト云●フ同案ハ蓋シ所得税ノ補助税トシテ之ヲ設定スルモノナルヘク一般的國税トシテ之ヲ賦課スルトキハ則チ幾多ノ難問題ヲ生スヘキ

ヤ勿論ナリ然レトモ若シ其ヲ東京市、特別
税トシテ之ヲ徴收シ大凡東京市、住民タル
者ニ其ノ財産、郡部又ハ山間海岸、別荘地
在ルモノヲ綜合シテ其租税ヲ負擔セシムル
トキハ課税、理由單純且明白其賦課徴收モ
亦甚タ容易ナルヘシ財産税ハ富豪者及ヒ贅
澤階級ニ課スル租税ナリ輪奐、美ヲ誇リ園
池、大ヲ衛フ者ニ對シテ徴收スルモノナリ
財産所有者固ヨリ其負擔力甚タ饒カナリ併
ナカラ若シ其負擔ヲ欲セスンハ自ラ其贅澤
生活ヲ改メテ質素儉約ヲ旨トシ無用、大廈
高樓ヲ撤シ無益、庭園遊戲地ヲ廢シテ之ヲ
住宅商店又ハ工作場タラシムルニ若カラス
斯クテハ租税收入ヲ得ル能ハサレトモコレ
ト同時ニ都市ノ經營ヲ利シ及ヒ一般市民ノ
便益ヲ増進シ得ヘクシテ大局ヨリ之ヲ觀レ

其、都市ヲ利スルコト租稅收入ヲ得ルヨ
リモ遙カニ大ナリ

以上述フル所ヲ以テスレハ土地增價稅及ヒ
財產稅ハ我カ東京市ノ財源トシテ最良ノ租
稅タリ併ナカラ之ニ就テ第一ニ立法上ノ困
難アルコト第二ニ實行上ノ困難アルコトヲ
考慮セサルヘカラス

土地增價稅ト曰ヒ財產稅ト曰フ共ニ社會政

策的色彩アマリニ濃厚ナル爲ノニ富豪者資
本家階級ニ屬スル者甚タコレヲ喜ハス政府
モ立法部モ此ニ慮顧慮シテ狐疑猶豫スルノ
情ナキ能ハス我カ日本ニ於テ若シ國稅トシ
テ之ヲ設定セント欲セハ其ノ困難ナルハ勿
論ナリ併ナカラ其ヲ一般的國稅ト爲サスシ
テ專ラ都市ニ於ケル特別稅ト爲シ法律ハ其
ノ課稅物件稅率及ヒ徵收方法ニ關スル通則

ハ
ヲ定ムルニ止メ其ヲ施行スヘキ都市ハ或ハ
法律ヲ以テ之ヲ指定スルモ可ナリ或ハ都市
自治機關ノ決議ニ基キ勅令ヲ以テ之ヲ指定
スルモ亦可ナリ此種ノ租税法ヲ制定スルコ
トハ到底困難ヲ免カレサレトモ一般的國稅
トシテ之ヲ設定スルニ比スレハ都市特別稅
法トシテ立法部ヲ通過スルハ蓋シ容易ナル
ヘシ

土地增價稅法ヲ施行スルニ當リテ其土地ノ
價格ヲ評量スルコト財產稅法ヲ施行スルニ
當リテ其ノ財產ノ價格ヲ評量スルコトハ決
シテ容易ノ業ニアラサルナリ故ニ土地財產
ノ價格ヲ評量スル爲メニ專門委員ヲ設ケル
ノミナラス陪審ヲシテ其事ニ與カラシムル
コトアリ又一定ノ基金ヲ準備シ若シ所有者
ニシテ其評量ヲ肯セサルトキハ其評量價格

ヲ以テ之ヲ買收セシムルノ方法ヲ設クルノ
必要アルヘク之ヲ實行スルニ當リテ幾多ノ
困難ニ遭逢スルヲ避クヘカラサレトモ當事
者此ニ慣熟シ所在人民亦此制度ニ親シカニ
從テ其困難ヲ輕減シ得ルヲ疑ハス

明治三十四年七月十一日 本印西片所一。

稻田周之助